

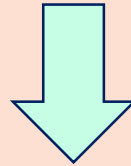
令和3年度 平野区運営方針の振り返り

【概要版】

平野区区政会議 （令和4年5月31日）

区目標

- すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり、支えあえるまち『ひらの』をめざす。
- 誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち『ひらの』をめざす。
- こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち『ひらの』をめざす。



今後の改善方向

将来ビジョンや地域福祉計画においても大切さがうたわれているよう、これまで以上に人とのつながりは重要性を増しています。区における様々な課題に対し、異なる分野の取組を連携・協働することでその解決を図りながら、各取組を通じ、地域内、地域と区役所など、あらゆるつながりを主体的に醸成し大切にするとともに、これまで培ってきた地域や区役所の様々な取組を積極的に発信し、「次世代につなげる(継承する)」ことで、平野区を笑顔で暮らしやすいまちにすることをめざした取組を進めていきます。

令和3年度 平野区運営方針

経営課題1	地域に応じた安全・安心のまちづくり	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースhipで目標を達成しよう	
【めざすべき将来像】 - 誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち『ひらの』をめざす - 災害や犯罪から自分たちの身を自分たちで守ることができるよう、安全で安心できる平野区をめざす	【具体的取組】 1-1 地域防災力向上に向けた支援 1-2 地域防犯力向上に向けた支援 1-3 地域活動力向上に向けた支援 1-4 まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用		
経営課題2	すべての人と人がつながり支えあえる福祉のまちづくり	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	
【めざすべき将来像】 平野区地域福祉計画でめざしている、支える人も支えられる人もお互いを支えあい、見守りあえる平野区	【具体的取組】 2-1 各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実 2-2 地域における支えあい活動への支援		
経営課題3	こどもが元気で育つまちづくり	1 貧困をなくそう 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	
【めざすべき将来像】 区民の方に住んでよかったと実感していただけるよう、こどもを元気にする平野区をめざす	【具体的取組】 3-1 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援 3-2 こどもの学習意欲の向上 3-3 こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援		

経営課題1

地域に応じた安全・安心のまちづくり(防災)



めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- 防災リーダーが中心となり、自主防災組織による主体的な取組を実施することにより、防災意識の普及啓発に努め、地域住民が防災に高い関心を持っている状態をめざす。

防災意識が高まったと感じる割合



令和2年度より、アンケート方法をイベント参加者から無作為抽出へと変更したため、数値は下がっている。

一方で、目標値の80%を上回り、上昇傾向であることから、防災意識は高まっていると考えられる。

※令和元年度まではイベント参加者アンケート結果

令和2年度以降については無作為抽出(ひらの区民モニター)アンケート結果

具体的取組1－1 【地域防災力向上に向けた支援】

ハザードマップの全戸配布や広報紙・HP等で防災情報を発信し、地域住民に自助・共助の大切さの理解を広げました。
また、区内企業・店舗へ、災害時の協力内容の再確認や新たに防災訓練参加の呼びかけを行いました。

(取組実績)

- 小中学校で実施する防災の取組 8回
- 地域での防災訓練 10回



取組によりめざす指標の達成状況

防災の取組を通じて自助・共助の大切さを感じる割合

目標: 60%以上



実績: **91.4%**

※ひらの区民モニターアンケート結果

【学校での防災訓練】

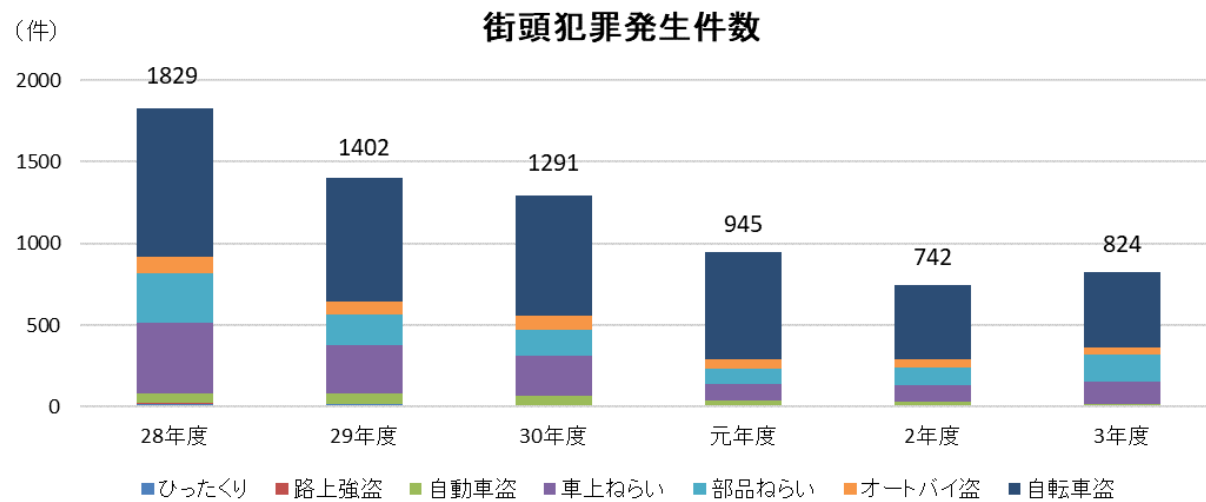
経営課題1

地域に応じた安全・安心のまちづくり(防犯)

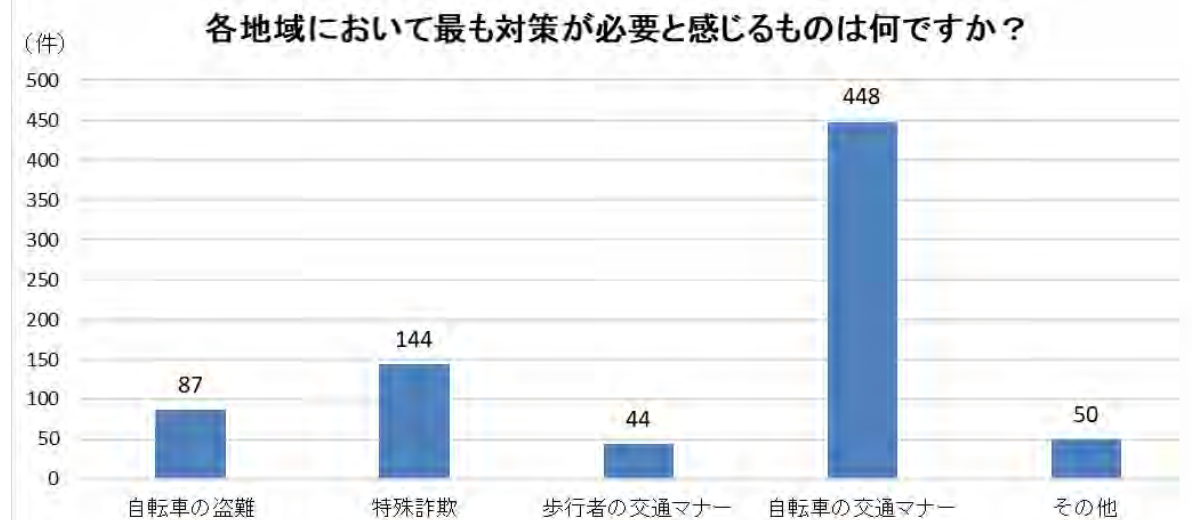


めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- 地域との協働や警察との連携によって、より安全で安心なまちづくりを推進している状態をめざす。



【出典】市民局(大阪市区別街頭における主な犯罪発生件数)



【出典】令和3年度ひらの区民モニターアンケート

街頭犯罪発生件数は、経年比較すると概ね減少傾向にあるものの、車上ねらいや部品ねらいなどの増加によって、令和3年度については、前年より発生件数は増加している。
また、各地域においては、自転車の交通マナー対策を求める声が高まっている。

具体的取組1－2 【地域防犯力向上に向けた支援】

地域・警察等との協働による防犯パトロールの実施や民間企業の協力による自転車盗の啓発、関係機関と連携した特殊詐欺の啓発等を実施し、防犯意識の向上につながるようつとめました。

(取組実績)

- 防犯カメラの設置 20台
- こども110番の家の現地確認
- 民間企業と連携した自転車盗啓発
- 地域住民との合同パトロール
- 平野警察署及び地域住民との合同防犯キャンペーン
- 犯罪発生場所の職員によるパトロール強化



【地域での見守り活動】

取組によりめざす指標の達成状況

防犯啓発やパトロールが犯罪発生抑止に効果があると答えた割合

目標:80%以上



実績: **95.1%**

※ひらの区民モニターアンケート結果

経営課題1

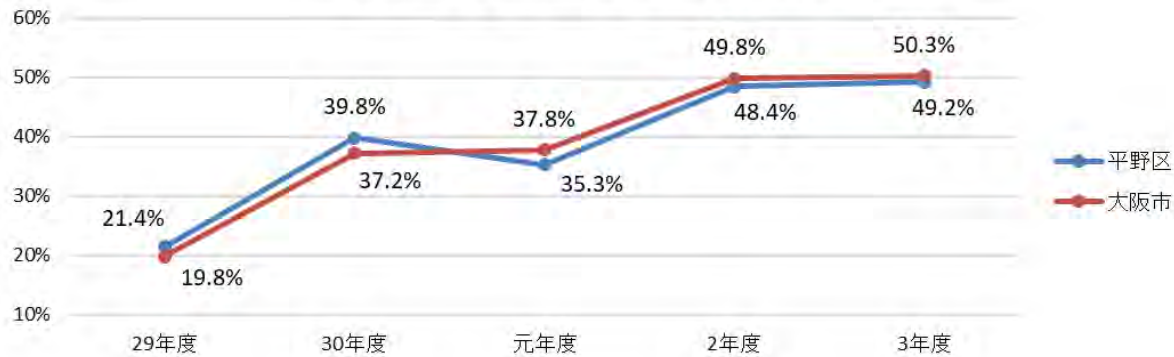
地域に応じた安全・安心のまちづくり(地域活動力向上)



めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

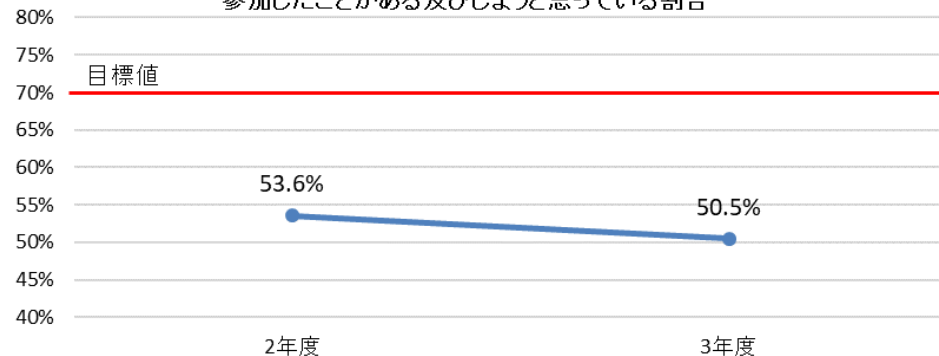
- さまざまな人が地域活動に参加し、地域団体間での連携・協働が行われ、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態をめざす。

地域活動協議会を知っている割合



【出典】区民アンケート(市民局実施)

地域活動協議会を知っている方のうち活動に参加したことがある及びしようと思っている割合

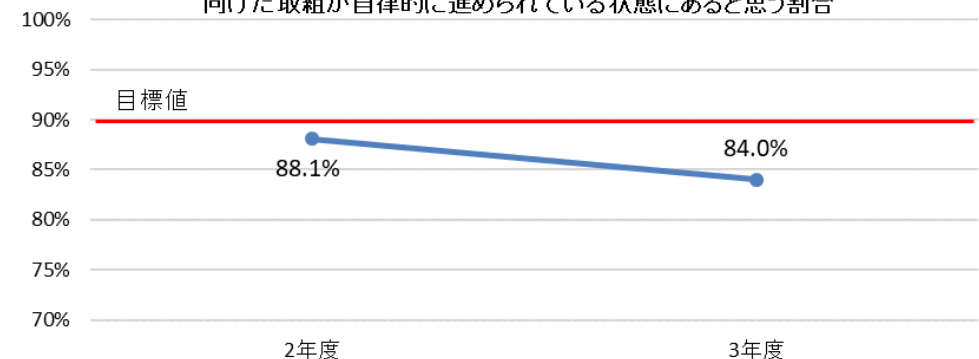


【出典】ひらの区民モニターアンケート

コロナ禍で活動はできていないものの、大阪市平均と同じく、地活協の認知度は上昇してきている。

今後は、活動に興味を持ってもらえるよう、より効果的な運営を支援していく必要がある。

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合



【出典】地域活動協議会への支援等に関するアンケート

経営課題1

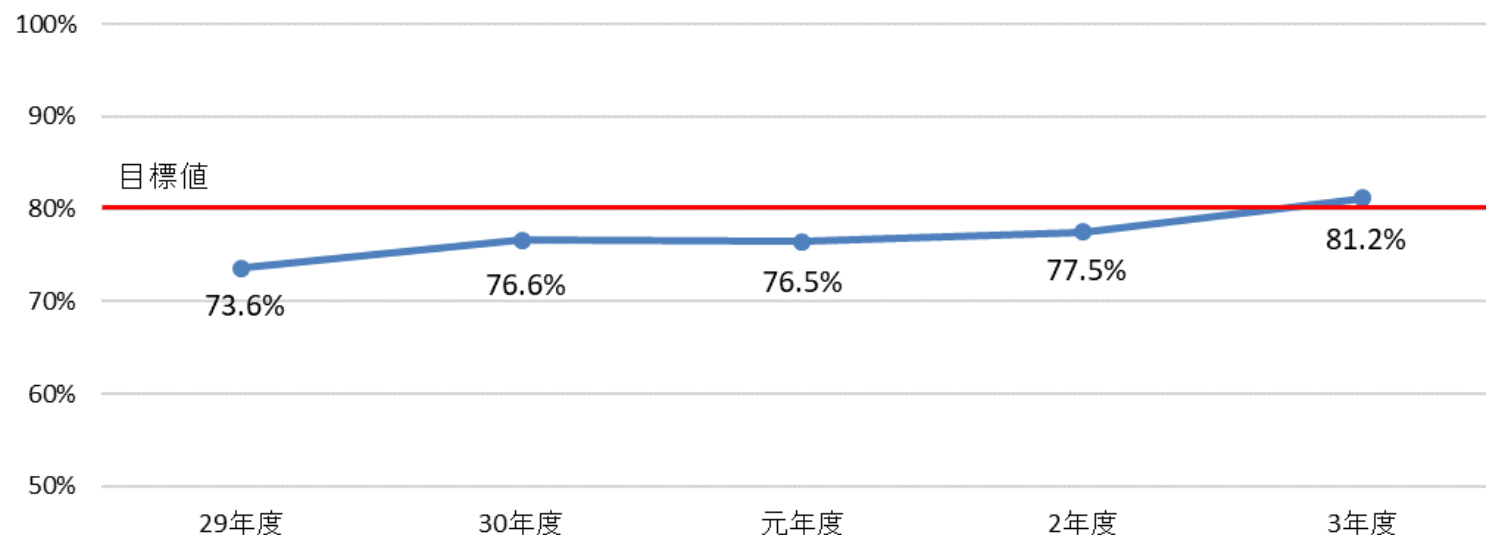
地域に応じた安全・安心のまちづくり(まちの魅力向上)

めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- 区民ニーズ等を踏まえた未利用地の有効活用の方角性に基づき、まちの魅力の向上に取り組んでいる状態をめざす。



平野区に住み続けたいと思う割合



【出典】ひらの区民モニターアンケート

買い物や交通網など、日常生活の利便性や保育所・病院などの施設が充実しているとの声も多く、住み続けたいと感じる割合は上昇傾向にある。
今後も、よりよいまちづくりができるよう、区民ニーズの把握に努めていく必要がある。

具体的取組1－4 【まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用】

区内未利用地の有効活用を図るため、区民が参画した場やアンケート等において区民ニーズの把握につとめました。

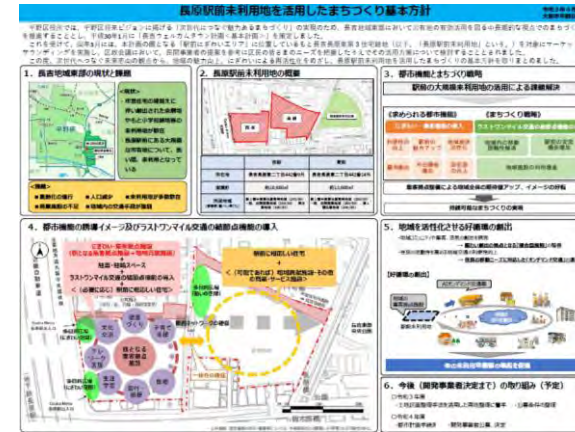
(取組実績)

- 区政会議などによる意見交換の継続及び、
区民アンケートにより区民ニーズの意見聴取の実施

取組によりめざす指標の達成状況

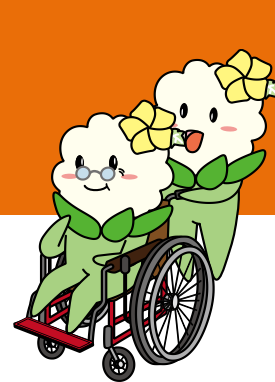
区政会議などの場において区民ニーズを把握

目標: 3回以上 ➡ 実績: **4回**



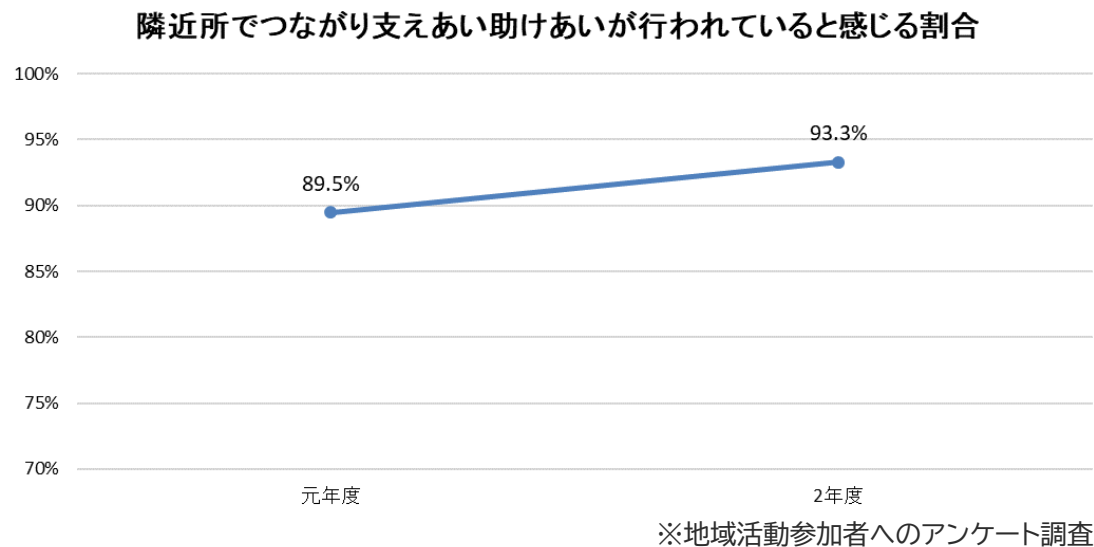
【平野区区政会議(安全安心まちづくり分野)】

すべての人と人がつながり支えあえる福祉のまちづくり



めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- 地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能しつつ、認知症や障がいのある人などのさまざまな状況に対する理解を深めながら、区民が、つながり支えあい、住んでいる地域で健やかでいきいきと暮らしている状態をめざす。



子育てや家事・介護、仕事のことなど生活の困りごとや
悩みがあるとき、相談できると感じる割合

目標: 令和3年度末までに60%以上 ➡ 実績: **71.6%**

※ひらの区民モニターアンケート結果

身近な相談や助け合いが行われていることなど、肯定的な回答が多く、地域や関係機関と連携し、見守りや認知症予防などの取組が有効であったことが考えられる。

一方で、若年層からは、身近でないとの意見もあることから、地域活動も含めすべての人に、つながりづくりの大切さを感じてもらえるよう努めていく必要がある。



【みまもり活動】

具体的取組2-1 【各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実】

地域福祉のネットワークづくりを行うため、地域福祉活動コーディネーターの育成や、地域での見守りに関するノウハウの蓄積など、区社会福祉協議会と連携し、地域支援体制の充実を図りました。

(取組実績)

- 各地域の課題抽出や分析を行い、地域の福祉活動への支援など 5地域
- コロナ禍における地域の特性に応じた緩やかな見守りについて、連絡会等で共有・情報発信

取組によりめざす指標の達成状況

お住まいの地域で、緩やかな見守りや相談活動が行われていると感じる割合

目標: 75%以上



実績: **90.8%**

※地域活動参加者へのアンケート調査

具体的取組2-2 【地域における支えあい活動への支援】

区民が障がいのある方や認知症の方とその家族の気持ちに寄り添い、すべての人たちが住んでいる地域でその方らしく暮らし続けることができるようつとめました。

(取組実績)

- 地域における「いきいき脳活サポートマニュアル」等を用いた取組 51か所
- いきいき脳活検討会(5回)、いきいき脳活研修会(9回)を実施
- 認知症予防区民講演会DVD作成・配布

取組によりめざす指標の達成状況

認知症についての情報を得て

自ら取組に参加したいと感じた参加者の割合

目標: 70%以上



実績: **78.8%**

※地域活動参加者へのアンケート調査

経営課題3

こどもが元気で育つまちづくり

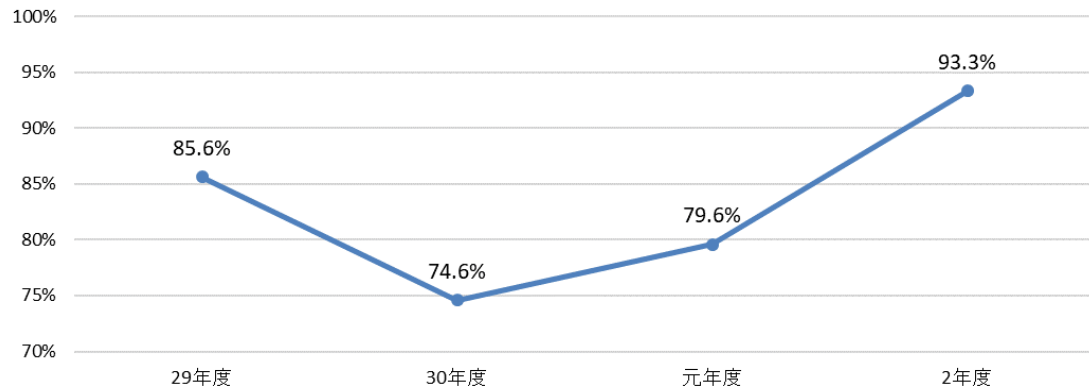
14



めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- こどもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態をめざす。
- すべてのこどもが適切な環境で養育される状態をめざす。

こどもたちの「生きる力」につながる学習意欲又は
自尊心が高まったと感じる事業参加者の割合



【出典】学力サポート事業参加者のアンケート

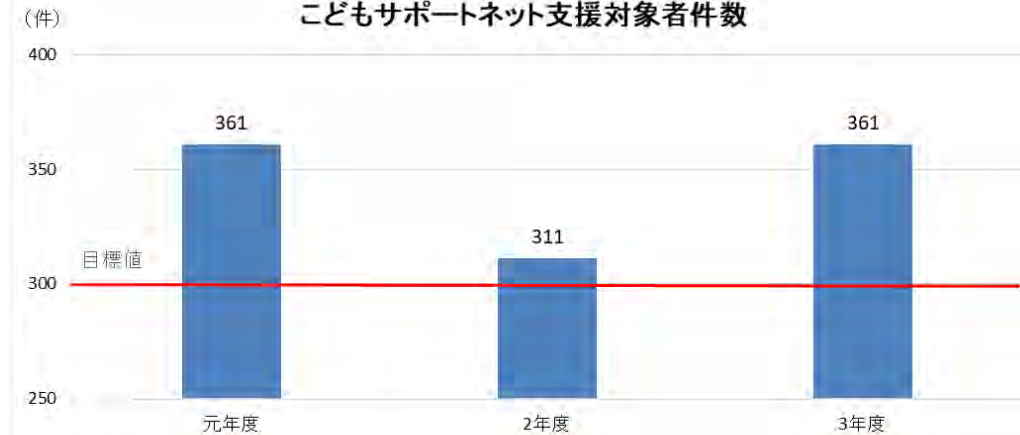
学校に行くのは楽しいと感じる割合

目標：令和5年度末までに76%以上

➡ 実績：**70.2%**

※全国学力・学習状況調査

こどもサポートネット支援対象者件数



自尊心が高まったと感じる割合は上昇しており、読書運動等も定着してきていることから、一定の効果はあると考えられる。今後も引き続き、妊娠期から子育て期、こどもの社会的自立までの切れ目ない支援を実施する必要がある。

具体的取組3－1 【児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援】15

コロナ禍においても、子育てにおける親の孤立化の抑止と子育てしやすい環境づくりのため、コロナ感染防止対策や児童虐待について相談や情報発信につとめました。

(取組実績)

●子育て支援者対象のスキルアップ講座 年2回

●HPやLINE等、インターネットを利用した

子育てに関する情報発信の充実 月5回以上更新



取組によりめざす指標の達成状況

・地域連携会議の開催

目標: 22か所



実績: **22か所**

・子育てに必要な情報を入手できていると感じる、子育て世代の保護者の割合

目標: 60%以上



実績: **57.9%**

※子育て世帯向けアンケート結果



具体的取組3－2 【こどもの学習意欲の向上】

こどもたちの生きる力につながる学習習慣の定着を通じて豊かな人間性をしっかりと身につけてもらえるよう、こどもたちの学びを支援しました。

（取組実績）

- 読書ノートを区内の市立幼小中学の児童・生徒に配布
- 読書ノートを活用し、一定水準を超えた児童・生徒を表彰
- がんばる小・中学生について個人及びグループを表彰



【区長表彰】

取組によりめざす指標の達成状況

読書が好きと答えた割合

目標：75%以上



実績： **65.3%**

※大阪市学力経年調査(児童質問紙調査)

具体的取組3－3 【こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援】

17

学校における教育分野と区役所における保健福祉分野を連携し、こどもと子育て世帯が抱える課題に対して総合的な支援を実施しました。

(取組実績)

- こどもサポート推進員が学校と連携し、支援の必要なこどもと保護者に対して総合的な支援を実施
- 高校生活の定着や卒業後の自立に向けた生活を支援

総合相談 23件 個別支援 30件(うち新規16件)

取組によりめざす指標の達成状況

・こどもサポートネット支援対象者件数

目標:300件以上 ➡ 実績: **361件**

・個別支援を行った者のうち、進級・卒業・転学・単位取得などにおいて前向きになった者の割合

目標:70%以上 ➡ 実績: **92.0%**

※事業参加者(対象者)アンケート